



関甲新学生野球・2部リーグ戦

勝点 2

関東学園大学戦 0勝2敗

写真 2戦目、疾走する湯淺

1戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
関東学園大学	2	0	0	0	1	0	3	0	1	7
本学	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

2戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
本学	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
関東学園大学	0	0	0	0	0	0	6	0	×	6

2019年度関甲新学生野球・2部秋季リーグ第3戦・関東学園大学戦は当部が敗北を喫しました。

【1戦目 9/28】常磐大学は初回、守備のミスから先制を許すと、5なんだ者の適時打でこの回2失点。5回に1点、7回にも3点を追加され、苦しい展開が続きます。打線も相手先発投手をなかなか攻略できず、無得点を重ねる。8回裏、ツーアウトから8番小野寺航希（2年）、9番代打草野成牙（3年）の連打で1,2塁のチャンスを作ると、ここで主将の1番根本拓真（3年）のセンター前適時打でようやく1点を返します。しかし反撃もここまでにとどまり敗北。1-7。

【2戦目 9/29】1回裏、先発の長谷川貴大（3年）が怪我の

ため打者1人で降板するアクシデントが発生し、急遽登板した2番手大谷優人（2年）が粘りの投球で試合を作る。2回表、5番湯浅猛（3年）、7番山田起熙（2年）の安打で1死1,3塁のチャンスを作ると、8番小野寺の併殺崩れの間に1点を先制。しかしその後、両チームともゼロ行進が続く中、7回表、2死から7番山田が2塁打で出塁すると、8番小野寺のセンター前適時打で待望の追加点を獲得。しかしその裏、好投を見せていた3番手川澄青児（3年）がピンチを作ると岩附詳陽（1年）、平野龍翔（2年）も流れを止められずこの回6失点。連敗を喫し、勝ち点獲得に至らず。2-9。
(文・三河樹)

星取表 (2019年9月29日現在)

順位	大学	関東学園	本学	松本	宇都宮	埼玉	新潟	試合	勝	負	勝点	勝率
1	関東学園	☆☆			☆☆	☆☆	6	6	0	3	1.0	
4	本学	★★	☆☆	☆☆			7	4	3	2	0.5	
3	松本		★★		☆☆	☆☆	6	4	2	2	0.6	
2	宇都宮		☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	8	5	3	2	0.6	
5	埼玉	★★		★★	☆☆		7	1	6	0	0.1	
6	新潟	★★		★★	☆☆		6	0	6	0	0.0	

次回予告

対・新潟大学戦

最終戦!

10/19(土), 20(日)

会場：平成国際大学野球場